

# 建築士 やまなし

No.67

— ARCHITECTURE YAMANASHI —



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

## ■平成26年度 山梨県建築文化賞受賞作品

- ①屋形の家〔住宅・良好なまちなみ景観〕(建築文化賞)(建築文化奨励賞)
- ②すみよし愛児園〔一般〕(建築文化賞)
- ③竹原田の家(良好なまちなみ景観)(建築文化奨励賞)
- ④甲州市学校給食センター〔公共〕(建築文化奨励賞)
- ⑤Evening暮らしの家(住宅)(建築文化奨励賞)
- ⑥北杜市立長坂小学校〔公共〕(建築文化奨励賞)
- ⑦生長の家 森の中のオフィス、〔一般〕(建築文化奨励賞)

## ■目次

- 2. 年頭のごあいさつ 山梨県県土整備部長 大野 昌仁
- 3. 県政功績者表彰を授与されて 小池 兵雄
- 4. (公社)日本建築士会連合会長表彰を授与されて 金井 彰彦・秩父 善治
- 5. 支部だより 第49回 親睦スポーツ大会に寄せて 甲府支部長 望月 雄二
- 6. 第57回建築士会全国大会に参加して 中瀬 幸子・星野 幸美
- 7. 青年部の活動報告 都留支部 平井 昌吾・女性部会活動報告 松野 範子
- 8. 平成28年度 関フロ山梨大会に向けて 山根 健司・渡辺 省三・長田 孝三
- 9. 建物探訪No.7 山梨県 早川町 赤沢宿 内藤 吉雄
- 10. 山梨県地震防災訓練に参加して 大月支部 岩本 隆可
- 被災建築物応急危険度判定模擬訓練に参加して 中巨摩支部 内藤 清仁
- 11. 県からのお知らせ 平成26年度山梨県建築文化賞一覧表 山梨県建築住宅課
- 12. 事務局よりお知らせ 会員の動静 編集後記

# 年頭のごあいさつ

山梨県県土整備部長

大野 昌仁



平成27年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

建築士会の皆様には、「人にやさしいまちづくり相談・建築物地震相談窓口」や「リフォーム相談窓口」の設置、さらには被災建築物応急危険度判定訓練への参加など、建築行政の推進に御理解、御協力をいただき、改めて感謝申し上げます。特に、昨年2月の豪雪災害時には、いち早く相談窓口を設置し、県民からの相談に迅速に対応していただき、大変ありがとうございました。

さて、県ではこれまで新山梨環状道路、中部横断自動車道など骨格道路網の整備を推進してきておりますが、今後もリニア中央新幹線などの社会資本整備が進むことは、将来の山梨の可能性を飛躍的に高めるものと考えております。こうした中、建築士の皆様には、本県の美しい自然や、すばらしい景観を生かした建物の設計を行うことにより、本県の魅力を更に高めていただけるよう期待しているところです。

また、建物はデザイン性と機能が重要視されがちですが、一番大切なのは安全性であります。昨年は隣県において、御嶽山の噴火や長野県神城断層地震が発生いたしましたが、本県でも南海トラフ巨大地震や、富士山噴火といった自然災害の発生が危惧されており、これらの災害による被害を最小限にとどめる取組みが重要となってきております。

こうした中、本県は、国の国土強靱化地域計画策定モデル調査の実施団体となっており、本年3月までに山梨県国土強靱化計画の素案を策定することとしております。この計画の目標でもある、大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最

大限図られ、災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われるようにするためには、大規模建築物や緊急輸送道路等の避難路沿道建築物の耐震化が重要な要素となります。

これまで木造住宅の耐震化については、県の重要施策の一つとして位置づけ、設計・改修などに対する支援を実施してきておりますが、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が改正施行されたことに伴い、昨年4月からは、不特定多数が利用する大規模な建築物や、避難路沿道建築物の耐震診断への支援についても実施しております。今後も引き続き、建築物の耐震化を促進するために、建築士の皆様の御協力をお願いいたします。

最近の住宅施策関連の報道では、空家問題が紙面を賑わしております。空家は適切な管理がされなくなると、老朽化による安全性の問題をはじめ、防火、防犯、衛生、景観等の多岐に渡る問題が発生する可能性が高くなります。

国では、空家問題の広がりを受け、昨年11月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、問題に直接取組む市町村の権限を強化いたしました。今後、県としては、技術的な助言や、市町村間の連絡調整など、必要な支援を行っていくこととなります。

このように、建築住宅行政には様々な課題がありますが、建築士の皆様には建築技術者として、よりよい建物づくり、まちづくりに御尽力、御活躍をいただくとともに、「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向けた諸施策への御協力を今後ともお願いいたします。

結びに、山梨県建築士会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を御祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 「県政功績者表彰を授与されて」

小池 兵雄



身にあまる光栄な事でありました。平成26年11月20日・アピオ甲府に於いて、横内正明山梨県知事より標記の賞を授与されました。

妻同伴での表彰式への出席、晴れがましい気分と緊張の中、会場には来賓として棚本邦由県議会議長、江口英雄市長会会長、渡辺凱保町村会会長がご臨席され、表彰状授与、知事あいさつ、棚本県議会議長の祝辞に続き、受賞者を代表して国立山梨大学名誉教授の貫井英明様がお礼の言葉を述べました。

式典は厳かな雰囲気の中で粛々と進められました。前もって当日の分刻みのタイムスケジュール及び男性、女性の例年平均的な服装について説明書を頂き、表彰式の格式の高さが痛感され身の引き締まる思いがいたしました。

式後、記念撮影が行われ、引き続き昼食会となりました。昼食会では大野昌仁県土整備部長様と同席する栄誉もいただき、妻と私は夢見心地の一日でした。

表彰の功績内容に「長年にわたり、建設業に従事するとともに・・・(中略)・・・建設業界の振興に貢献した功績は顕著である」と記されておりましたが、何の能力も無い私、父親の勧めで入ったこの仕事にただただしがみ付いて今日まで来ただけで、建設業界の振興に貢献などいささかも思い当たりません。

昭和52年青年部設立に当たり、後に第4代山

梨県建築士会会長とられました故 梶原政夫様に入会を命じられ今日に至りましたが、その間、北富士支部支部長、副会長の重職を努める事が出来ましたのも会員皆様方の多大なご支援と勤務先の社長はじめ社員の方々の士会活動に対する暖かいご理解があったからであり、深く感謝申し上げます。

北富士支部での県内国宝、重文等の建築物見学会及び本会の親睦スポーツ大会、全国大会、学会の見学会等楽しく、また仕事の糧となる行事に数多く参加いたしました。

建築士会に入会して本当に良かったと、又、誇りに思っています。ここで改めて雨宮建築士会会長、会員諸兄、関係行政機関、そして事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。

今回の受賞にあたり皆様から頂戴いたしました祝福の言葉を胸に刻んで、今後共建築士会の発展のため微力ながらお役に立ちたいと思います。



## (公社)日本建築士会連合会長表彰を授与されて



甲府支部

金井 彰彦

この度、第57回建築士会全国大会（ふくしま大会）におきまして日本建築士会会長表彰を頂きました。

両宮会長はじめ関係各位のご推挙のおかげと心より感謝申し上げます。建築士として未熟な私がこのような表彰を頂きましたことは誠に身に余る光栄でございます。

私事ではございますが、息子が建築士会甲府支部に入会させて頂いてからは、建築士会の皆様にご無沙汰しておりました。それだけに今回久しぶりにお会いできた方々また初めてお会いした方々、女性会員も何名かおられ、参加して本当に良かったと思っております。

大会への参加者数は今回特に大勢だったとのこと、車中も宴席も大変な賑わいでした。

ふくしま大会のテーマは、「建築士の決断『ならぬことはならぬものです。』ふくしまで語ろう 建築・絆・再生、でした。又、福島県松隈建築士会会長が、「未だ126,000人が避難生活を送る福島県への支援に感謝するとともに、この大会が復興へのきっかけになることを期待する」との挨拶があり、とても印象的でした。

甲府支部に対しましても、いままでにこれと云って何も貢献していない私がこのように受賞させて頂きましたことは、建築士会の皆様のおかげと改めて深く感謝しております。歴代の役員様、事務局の皆様にも大変お世話になりました。

今後の建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 連合会長表彰を授賞して改めて思う事



甲府支部

秩父 善治

第57回建築士会全国大会（ふくしま大会）において山梨県建築士会会長はじめ諸先輩の推挙を頂き、図らずも連合会長表彰を頂戴する栄を受けましたことを厚く御礼申し上げます。大会会場の福島県は平成23年3月11日の震災で多大な被害にあったところがあります。大会会場は郡山でしたが、いわきスパリゾートハイアonzのショーがオープニングを飾り、開幕した次第です。まだまだいたる処で復興に向けた努力がなされているのですが、何も無かったかのように…我々建築士は建物の大小は別にして、いかにクライアントのニーズに応えながら、デザインと機能性を追及していくかが自分に与えられた使命と自分自身考えがちでありました。しかし今回、福島県建築士会女性委員会のテーマであります、「考えよう!明日を担う子供達のための住まいづくり～放射線対策住宅を考える～」という、実験に基づく研究発表を拝見し、一般的な設

計行為だけでなく、出会った事の無い放射線と向き合い（私自身放射線はレントゲン室の設計位しか出会ったことはありませんでした）起こってしまった事故により日常空間のなかに有る、目に見えない放射線を如何にして、既存及び新築住宅に取り込まないか、減らす事が出来るのか、外部の大規模な除染は国なり地方公共団体が取り組んでいるのでしょうか、いつまで続く見えない敵との戦いを手弁当で実験・研究する女性委員会の姿は今自分の身の廻りに起きている危険を取り込んだ設計行為であり、建築士として別の大きな課題・要素をひとつプラスされたものと思えました。自然災害の少ないましてや原発のない甲府の地をありがたく思う次第でありました。今回の表彰を機に建築士としてまだまだやるべきことは沢山あるのではないかと考えた次第であります。

皆様のご厚意に感謝しつつ、ありがとうございました。

## 第49回 親睦スポーツ大会に寄せて

甲府支部長 望月 雄二

『雨天決行、カッパを着てでもやりましょう!!』

大会前日に小瀬スポーツ公園で準備を済ませた後の大会運営委員全員の総意でした。その思いが通じたのか、二日ほど降り続いていた雨も当日8月30日の朝6時頃には止んでくれました。本来ならば残暑きびしい時期ですが、曇天で過ごしやすい天候となりました。

第49回山梨県建築士会・親睦スポーツ大会はグラウンドゴルフに変更してから、10年ぶり2度目となる甲府市での開催でした。県内10支部、青年部・女性部の29チーム、大会関係者を含め総勢200名近い会員の参加をいただき、無事に大会を迎えられたことを皆様に感謝しております。

開会式では、雨宮建築士会会長の挨拶に続いて、ご来賓の山梨県建築住宅課長・笠井英俊様と甲府市長・宮島雅展様からご祝辞をいただきました。競技上のルール説明、ラジオ体操の後に、ご来賓による始球式が行われましたが、カッパを大きくはずして悔しがる

御来賓2名の笑顔が、実に印象的でしたね。そして、いよいよ競技開始。真剣にプレーする人、ホールインワンでガッツポーズをする人、童心に返ったようにはしゃぐ姿は親睦スポーツ大会ならではの微笑ましい光景ではないでしょうか。閉会式の成績発表では、次回主催の市川支部が優勝し、塩山支部が準優勝、北富士支部が三位という結果に終わりました。

来年度は第50回となる節目の大会になります。一口に50回と言っても、半世紀に渡って継続してきたことになります。スポーツ大会ではありますがこれも山梨県建築士会の偉大な足跡だと痛感しています。来年のご健闘をお祈り申し上げます。

☆ 甲府支部の活動紹介（支部会員数374名）  
親睦スポーツ大会の主催・8チーム参加  
建築士会全国大会（福島）に11名参加  
甲府市耐震啓発ローラー作戦への協力  
応急危険度判定情報伝達訓練の実施等



## 「第57回 建築士会全国大会、ふくしま大会」に参加して

女性部会 中澤 幸子

10月24日“ふくしまで語ろう、建築・絆・再生”のテーマの下、ビッグパレットふくしまに於いて大会が開催されました。今回初めて本会から参加し最初は少し緊張していましたが、楽しい2日間の研修会となりました。

24日早朝甲府を出発し、中央道・東北道を経て15時からの大会式典に参加しました。震災復興のシンボルとなったフラガールによるフラダンスショーで、私達が勇気を頂く形で華やかに始まり、連合会長表彰として当県では金井彰彦氏、秩父善治氏が表彰されました。次期開催地 石川県のアピール、そして大会旗が引き継がれ来年の再会を確認しました。

翌日は、会津城下と下野の国(日光今市)を結ぶ32里の区間の中で、会津から2番目の宿駅として1640年ごろに整備された宿場町の大内宿を見学しました。昭和56年4月、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、現在は殆どの家でお土産店または蕎麦屋等の店へと変わり、通年を通し約120万人の観光客が訪れるとのこと。おばあちゃんが生き生きと接客している姿が印象的でした。

本会の皆様と、和気あいあいと建築談義(?)に花を咲かせたり、仕事を離れた部分でのチャームな一面を垣間見させて頂いたり、楽しい時間を一緒に過ごさせて頂き有難うございました。

女性部会 星野 幸美

今回全国大会「ふくしま大会」に参加して一番印象に残っていることは、2日目に訪れた大内宿です。

大内宿には主要道路から細い道を入って行きます。大型バスで行っても大丈夫かしらと思える程の川沿いの細いくねくね道でした。ところどころに「トイレまであと〇〇キロ」とか「Uターンまで〇〇キロ」と書かれた看板が立っていました。バスガイドさんの説明によれば、今日は朝一番で向かっているので渋滞はしていないけれど、宿泊場所が遠かったり、少しでも出発が遅れたりするとこの道が大渋滞するそうです。その話のとおり、帰りに駐車場に戻るまでにたくさんの旗を掲げて歩く団体さんとすれ違い、駐車場はもう満車。何十台ものバスが停まっていた。

大内宿は江戸時代の街並を今に残す宿場で、道の両脇に茅葺き屋根の民家が並んでいます。道は砂利道で、両側に小川が流れて、道からセットバックをして

建物が並んでいます。この小川では一部流れをせき止めてラムネを冷やして売っていました。小学生の夏休みに祖母の家に行くと井戸があり、スイカと葡萄とジュースがいつも冷たく冷やしてくれていた景色を思い出しました。

なだらかな道を登って行くと突き当たりに階段、その奥に神社がありました。そこに行くともわりを山々に囲まれたのどかな風景が現れ、真っ青な空と紅葉まった中の山を背景に大内宿の茅葺き屋根を見下ろすことができました。ゆっくり時間が流れていて、心が落ち着くとてもステキな宿場町でした。

最後に、今回初めて本会の先生方の研修旅行に参加しました。顔見知りの方もいらっしゃったので、とても楽しい旅となり、有意義な大会になりました。ワイワイがやがや、かしまし女性部会の3人だったと思いますが、お世話になり、いろいろとありがとうございました。



## 青年部の活動報告

### 県民の日IN小瀬 折り紙建築ワークショップに参加して 都留支部 平井昌吾

11月15日(土)、16日(日)と、小瀬スポーツ公園にて毎年恒例の折り紙建築ワークショップが青年部により行われました。

私も仕事の都合もあり、16日(日)のみでしたが、参加させていただきました。

折り紙建築は実線と点線が印刷された台紙を用いて、実線をカッターで切込み、点線を山、谷に折ると飛出す絵本のように建物の形が浮び上がるというもので、簡単なものですと10分ほどで出来上がります。ワークショップの前の机には青年部の人達で作った国会議事堂や姫路城など高度なものが並べられているため、自然と人々がそれに目を止めます。このイベントに参加するのはまだ3回目ですが、誰もが親しみを持ちやすい内容だと思います。

県民の日のイベントの来場者の中にも興味を持って話しかけてくれる人が多く、特に子どもたちは自分も作ってみたいと言ってくれるので家族連れや小学生を中心に今年も賑わいました。中には去年よりも難しいものを作りたいと言ってくださる方もいます。このワークショップは毎年県民の日のイベント内で開催されておりますが、山梨県建築士会を県民の方々に知ってもらいたい機会だと実感出来ます。折り紙という身近なものを通して県民の方、子供たちと建築の事を話すことができ、また建物をつくることは面白いということを話すことができます。

私は普段は鉄骨製作の業務をしており、日々安全な鉄骨を作るため努力していますが、このイベントでは紙を用います。子供達が紙を用いて建物を作る姿はとても真剣で、紙の建築物が浮き上がった時は満足そうな顔を見せてくれます。それを見ると自分の普段している業務の楽しい部分を再確認することができます。

また私はこのワークショップや他の青年部の活動を通して先輩の建築士の方々に多くの事を学ばせて頂いております。これから自分が成長できる場だと思い、微力ではありますが建築士会で学びこれからも活動をしていきたいと思います。



## 女性部会の活動報告

### 「みつめなおそう山梨 in Kofu」

平成26年11月16日、秋晴れの気持ちの良い天気の中、甲府駅北口藤村記念館前に集合し、甲府城下町散策、甲斐府中の古道を歩きました。

ボランティアのガイドさんをお願いし、まずは藤村記念館を見学。きつい坂道をのぼり、武田信虎が建て信玄がこちらに移した、眺めのいい真言宗のお寺、華光院。そして、武田信虎墓所である、大泉寺まで歩きました。お昼をすませ、午後は、舞鶴城公園へ。こちらでも、ガイドをお願いして4班に

### 女性部長 松野 範子

わかれ、ゆっくりと解説を聞きながらの散策。積み方から年代のわかる石垣の話、層塔型・望楼型など天守の構造は二種類あることなど、大変興味深い話を聞くことができました。

山梨に住んでいながら、まだまだ山梨の良さをわかっていないことに気づかされるこの企画は、峡東地域、北杜地域、今回の甲府地域と三回目です。まだまだ見どころが満載の山梨県。毎年各地域を歩き、さらに見聞を広めたいと思います。



## 平成28年度 関ブロ山梨大会に向けて 連載 リンク関ブロ第2回「始動」

関ブロ山梨大会準備会を立ち上げてから約半年、9月26日に大会会場・清里清泉寮の会場視察をしてきました。参加メンバーは県内青年部メンバー、また長野県と千葉県の建築士会青年委員長にもご参加頂き、八ヶ岳清里の地、そして清泉寮をフルに活かし、どのような大会が開けるか討論を交わしました。

夜は一杯飲みながら、そして、露天風呂で満点の星空を眺めながら、関ブロ大会の話に限らず、わいわいと仕事の話や様々な情報交換を交わり、楽しく有意義な視察会となり、大会に向け良いスタートができたと思います。

県内の多くの建築士の方々にもご参加頂きたかったのですが、皆様へのご連絡が行き届かず、申し訳ありませんでした。素晴らしい山梨大会実現のためには、諸先輩方や青年の皆様のご力が必要です。今後、色々な形で情報発信もしていくように致しますので、皆様、どうぞよろしくお願い致します。



実行委員長 山根健司

### 回想「平成8年度山梨大会」実行委員長 長田孝三

来年関ブロ青年協大会が山梨で開催される事となり、実行委員会がスタートしたと山根さんから連絡がありました。私たちが務めた甲府常磐ホテルを会場とした山梨大会から18年を経て月日の流れの速さを実感するとともに、次代を担う青年の意気を感じ頼もしく嬉しく思いました。

私たちの山梨大会実行委員会が組織されたのは大会の一年前。初めての実行委員会は甲府北公民館でした。実行委員会は女性部にも参加をお願いし、青年部と女性部の協力で進めることができました。後にこれが大きな力を発揮し、大会を成功に導いたのですが、その話しは紙面の都合でまたの機会に…。とにかく心がけたのは長丁場の準備期間を楽しくするということでした。準備が楽しければ大会も楽しい!それで会場・宿泊室の下見や当日の食事・弁当の試食

### 関ブロ群馬大会へ行こう!

本年6月19・20日に群馬県安中市磯部温泉、にて関ブロ群馬大会が行われます。「建築の種をまこう」を大会テーマとして、各種分科会・文化遺産登録された富岡製糸場をめぐるエクスカージョンと見どころ満載の大会となりそうです。

また、この大会は私たち青年部にとって来年に開催される関ブロ山梨大会をPRする大変重要な大会でもあります。群馬大会を楽しむのは勿論、山梨大会を成功させる為にも多くの会員の方の御参加をお待ちしております!

青年部長 渡辺省三

### 山梨の建築の将来を考える場

民間・行政の様々な立場の建築士  
他にない様々な取り組みを通じ  
学び・語り合い・気づきのある場

関ブロ山梨これから始まります。まずは一歩、電話かメールでお近くの方や下記事務局まで。是非!

平成28年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会  
山梨大会実行委員会 ☎055-233-5414(本会事務局)

メール [seinen@ykenchikushi.org](mailto:seinen@ykenchikushi.org) 公式HP <http://kanblo.ykenchikushi.org>

会、記念品探しに県内各地を訪ね歩いたりした結果、あっという間に過ぎた1年でした。参加記念は印伝名刺入、発表者には雨畑硯を、懇親会には地酒をと「山梨」を盛り込みました。大会成功のカギは会場設定にあると思います。駅からのアクセスが良く300人以上の宿泊や中庭の離れ客室、研修室などほとんど貸切状態で使用できたことは幸いでした。おかげでそれまでになかった400人参加の大会になりました。この大会の成功は会長や事務局、各支部の支部長、進藤さんや久保田さんら歴代の青年部の先輩、女性部の皆様、現役青年部の皆さんと、山梨県建築士会挙げての協力のたまものと感じました。再度深謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に平成28年度関ブロ青年協山梨大会の成功を祈念するとともに青年部の皆様に期待しています。



## 山梨県 早川町 赤沢宿

内藤 吉雄

山梨県南端に位置する早川町は西に静岡県と接する標高2000m～3000mの南アルプス連峰東を1000m～1500mの身延山地に囲まれ早川溪谷一帯を町域に38の村落が点在している。

町内には武田氏時代に開発された保・黒桂・雨畑の金山遺跡がある。また鎌倉時代に築かれた日蓮宗総本山の身延山とその守護神・七面山は信仰の聖地として名高い。

赤沢宿はこの身延本山と七面山を結ぶ山間の参道の途上に位置し、眺望のよい傾斜地に開かれた三十二戸の集落であり、全戸が望月姓を名乗る同族団の村であった。かつては広大な山林を背景に仙・木挽きや大工を輩出し、寺社や信仰に奉仕していた。旧家には七面山開創にまつわる伝承や古文献が数多く残されており、室町初期の兜等を有し武田氏家臣の末裔と伝えられる。

中世の女人禁制の七面山は、江戸初期に庶民が信仰する山に変わった。さらに江戸中期の宝暦頃身延往還（七面参道）が整備され、赤沢集落は坂道の両側に雛壇状に並ぶ屋敷配置となり、講を組織した信徒団体などの参詣客を迎える講中宿場として発展してきた。

江戸時代の旅籠は草葺の平屋造りであったが、明治以降は遊山を兼ねた参詣客が増えたため明治10（1877）年旅籠は総二階建てに大改修を行った。団体客を迎え送り出すのに都合が良く、座敷廻りに深い軒と小縁のついた土間がめぐらされている。さらに明治末期には最新のトタン屋根が導入され、大正期に今日の集落景観が形成された。旅籠は明治初期には9軒あった旅籠が、現在では江戸屋一軒が営業を続けるのみとなった。

明治から昭和初期にかけて江戸講中の流れを汲む団体が定宿の証に奉納したマネギ板と呼ぶ「講中札」が軒下に並んでいるのが旧旅籠建築の大きな特徴でもある。かつて参詣客で賑わっていた時代を映す赤沢の家並と、それを知る古老たちの表情には他とは異なった赤沢風ともいべき風情が醸し出されているようである。旅館の軒下にずらりと並んだ講中札はマネギ板と言い、現存するのは大正頃に江戸講中の流れを汲む人々が定宿の証に奉納したものである。

日蓮宗以前の赤沢の歴史は古刹妙福寺が平安末期の真言宗草庵に始まると言われ、霊場七面山も

真言宗からの改宗と伝えており、山岳仏教者の関わりが想定される。

保存対策調査以来ずっと赤沢宿の保存修復整備に取り組んでいる壺和設計の川崎氏は設計技術者というだけでなく赤沢宿の良き理解者として住民の相談役を担っている。

早川に沿う幹線道路から山腹の間道へ分け入り、木洩れ陽の坂道をつづれ折りにしばらく上っていくと急に視界がひらけて、こつ然と赤沢集落が出現する。旧身延往還である石畳の坂道に沿って雛壇状に並んだ家並みは町というにふさわしい。明治初期には9軒の旅籠、中世の赤沢村はその最も南端にあって、日蓮宗の総本山である身延山（標高1153m）の裏手標高5-600mの南西傾斜面に開かれた32戸の集落である。集落は直下に春木川溪谷を、直上に標高1989mの七面山を仰ぎつつ、南方に開かれた春木川の源流を一望する。

昭和55年Uターンした若者たち「青年同志会」が山梨大学の花岡利幸教授の指導の下村の伝統行事の継承と活性化に向けた活動を始め、町行政と一体となって往還の石畳敷事業をスタートした。さらに「国指定に町並み保存地区」へと夢は広がっていく。

昭和62年（1987）年より4年の年月をかけて伝統的建物群保存対策調査が行われた。建物だけでなく石垣や畑、墓地のほか文献資料の調査によって各家々の系譜や屋敷の有様が江戸初期にまで遡ることが明らかになった。

さて、今までの調査報告書をもとに平成5年7月に国重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。以降毎年少しずつ保存修復・修景事業に取り組み始めて20年を経た現在、赤沢資料館の他にも村の女性達が経営する蕎麦処「武蔵屋」や「清水屋」民家など公開施設など整いつつあり、自然環境にも注目し村内に自生する希少動植物（福寿草・節分草やモリアオガエル・ヤマアカガエル等）の保護にも取り組んでいる。

季節の折々にはTVや新聞などメディア紹介により、山梨県内客だけでなく静岡・神奈川・名古屋方面の遠方から訪れる客が増えている。

しかしながら、人口の減少と高齢化、さらには動物の食害で畑耕作地があれ、空き家も増えつつあると言う大きな課題をも抱えている。

## 山梨県地震防災訓練に参加して(応急危険度判定訓練) 大月支部 堂本隆司

11月2日(日)大月短期大学グラウンドにて、山梨県地震防災訓練が行われ、その実働訓練のひとつとして、応急危険度判定訓練が行われ、山梨県建築士会の雨宮会長はじめ大月支部のメンバーが参加しました。

会場には様々な防災に関する資料展示や体験コーナーのブースが置かれ、自治体、自衛隊、消防、警察、企業、各種団体の1000人も参加者が集まる中、我々建築士による訓練が行われました。まず手始めに、県の担当者による、ビデオ等を利用した座学が行われました。私としては初めての体験でしたので、とにかく実施方法を頭に入れてと思い研修を受けましたが、しかし2人1チームによる敷地内鉄筋コンクリート2階建物の判定訓練においては、さて何をどのようにと迷う有様でした。幸運にも、もう1人の方が構造設計者で、

経験者で有りましたので、無事対応する事ができましたが、やはり実施訓練の積み重ねが大事であり、定期的な訓練の必要性を深く感じました。その後、全体の参加者が集まり、知事、大月市長が見守る中、応急危険度判定士として判定結果の伝達が和田大月支部長により行われました。

訓練終了後は会場内のブースを廻り、防災用品を見たり、関係者の話を伺ったりしました。多くのボランティアの方も多く参加しており、中にはたぶんボランティアの方々だと思いますが温かい食べものを提供するブースがあり、ほっとした気持ちになりました。防災においても、その意識を持つボランティアの方や市民の方の先導による地域の皆様の防災意識の高まりと、自分の街は自分たちで守るという思いの大切さを感じる事も出来た貴重な一日でした。



## 被災建築物応急危険度判定模擬訓練に参加して 中巨摩支部 内藤清仁

平成26年11月18日 県土整備部建築住宅課主催による被災建築物応急危険度判定模擬訓練が実施されました。午前と午後の部に分かれ、総勢40名の応急危険度判定士の登録をした建築士会のメンバーが参加しました。中央市立田富総合会館へ集合し、被災建築物の応急危険度判定のDVDの講習を受けた後、中央市の飛石団地に移動し、団地内の解体予定の木造平屋建て住宅2棟について、実際の判定訓練を行いました。

外観調査のみでしたが、築年数も経過している建物でしたので、基礎、屋根、外壁等で危険ありの指摘があり、総合判定では、危険(赤)が多く貼られました。

当日は、NHKを始め、マスコミの取材も受け、県民に対しても啓蒙ができたことと思います。次の日には、あちこちで「昨日テレビ見たよ」と声を掛けられました。

模擬訓練から4日後の11月22日には、長野県北部で震度6弱の「長野県神城断層地震」が発生し、白馬村等で甚大な被害をもたらしました。

山梨県においても東南海地震や断層地震の発生がいつ起こるかと呼ばれています。すでに、現地における被災建築物応急危険度判定を経験されている方も、まだ、経験されていない方も、いざという時対応できるよう、模擬訓練等に参加し、実践しておくことが大切だと感じました。



# 県からのお知らせ 山梨県建築住宅課

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenchikujutaku/index.html>

－26年度 山梨県建築文化賞－

山梨県建築文化賞推進協議会

## 「屋形の家」「すみよし愛児園」が建築文化賞に選ばれました

本年度の山梨県建築文化賞への応募(住宅建築31点、一般建築物等17点、公共建築物等21点、計69点)の中から、建築文化賞には「屋形の家」と「すみよし愛児園」の2点が、建築文化奨励賞には6点が選出されました。

昨年11月7日にベルクラシック甲府において表彰式が行われ、横内知事から受賞作品の建築主、設計者、施工者に表彰状と記念品が贈られました。

これまでの受賞作品も含め、建築住宅課のホームページに掲載されていますので、是非ご覧下さい。建築士会ホームページからもアクセスできます。

今後とも、本事業の推進に建築士皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 【平成26年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表】

(敬称略)

賞の名称	部門	建築物の名称	所在地	建築物の概要						建築主	設計者	施工者
				用途	工事種別	構造	階数	高さ(m)	延べ面積(m <sup>2</sup> )			
建築文化賞 建築文化奨励賞	住宅建築・良好なまちなみ景観を形成している建築物等	屋形の家	甲府市屋形	一戸建ての住宅	新築	木造	地上2階	7.55	227.74	O氏	横内敏人	(株)新津組
建築文化賞	一般建築物等	すみよし愛児園	甲府市住吉	保育所	増築	鉄骨造	地上1階	7.25	606.94	社会福祉法人 ゆうゆう すみよし愛児園	スタジオ・ベルナ代表 萩原聖一	井口工業(株)
建築文化奨励賞	住宅建築	Evening 暮らしの家	笛吹市境川町	専用住宅	新築	木造	地上1階	5.34	114.74	松下宗一	建築設計室 アトリエ風渡辺精一	(有)匠建築工房
	一般建築物等	生長の家 森の中のオフィス	北杜市大泉	事務所	新築	木造、一部鉄骨造	地上2階 地下1階	12.68	8,154.01	宗教法人「生長の家」	清水建設株式会社一級建築士事務所	清水建設株式会社 関東支店
	公共建築物等	甲州市学校給食センター	甲州市塩山	工場(学校給食センター)	新築	鉄骨造	地上2階	8.70	1,972.17	甲州市長	スタジオ ベルナ代表 萩原聖一	早野組・高野建設共同企業体・中楯電気・奥山電気 共同企業体・渡辺工業所・塩山ヒタチ商会 共同企業体
	公共建築物等	北杜市立長坂小学校	北杜市長坂町	小学校	新築	鉄筋コンクリート造	地上3階	12.98	6,828.31	北杜市長	(株)佐野建築研究所 代表取締役 長井隆志	(校舎)内藤ハウス・清水建設・北建設 共同企業体 カナマル・明電社 共同企業体 雨宮工業・木田工業所・中央設備 共同企業体 (給食調理場) 早野組・鈴建共同企業体 タキデン・白羽電気サービス 共同企業体 日昇総合設備株式会社 (プール付属棟) 日経工業株式会社 (太陽光発電設備) 五光電工・寺電社 共同企業体 (外観工事)株式会社丹羽建設
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	竹原田の家	笛吹市一宮町	専用住宅	その他	木造	地上2階	6.70	207.40	雨宮一夫	N設計アトリエ代表 名取政明	(有)匠建築工房

### 【山梨県建築文化賞の応募・受賞件数 (第1回～第25回)】

住宅建築の部門			一般建築物等の部門			公共建築物等の部門			良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門			計				
文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	部門別受賞数	応募数	文化賞	奨励賞	特別賞	応募数
8	31	813	12	29	772	18	23	655	6	31	住宅12 一般23 公共2	16	44	114	1	2,256
39			41			41			37				159			

- ※ 第1回、第2回は、一般建築物等、公共建築物等、良好なまちなみ景観を形成している建築物等の3部門で募集。(住宅建築は一般建築物等に含まれた)
- ※ 第3回からは住宅建築、一般建築物等、公共建築物等の3部門で募集。良好なまちなみ景観を形成している建築物等については3部門から賞の主旨にかなうものを審査委員会の審査により選出。
- ※ 第17回からは、国、県の建築物についても表彰対象となる。
- ※ 山梨県建築文化賞推進協議会 (構成団体)  
山梨県、(一社)山梨県建設業協会、(一社)山梨県建築士会、(一社)山梨県建築設計協会、(一社)山梨県建築事務所協会、(公社)山梨県建設技術センター